

学びと交流・共感ひろがる

青年部新歓ジャンプ2009

六月七日(日)、エデュカス東京にて青年部主催『新歓ジャンプ2009』が行われ、全都から約五十名が参加しました。

楽しい教育実践、悩みや失敗の経験も

今年の新歓ジャンプではメインイベントとしてシンポジウム『失敗しても大丈夫、こどもと一緒に成長しよう!』を企画し、最近の青年教職員の立場を経験した四人の方々をパネリストとして招いて、実際に悩んだことやそれを乗り越えた体験談などを話していただきました(お一人は急病のため欠席され、実行委員が原稿を代読しました)。

授業づくりの講演では「楽しくて分かりやすい授業には何が必要か」について、実例を交えながら楽しくお話しいただきました。子供の出番が多い授業ほど子供はノックするというお話・授業に物語性を持たせることで意欲と集中力を持続させるというお話を大変興味深く聞きました。「仲間と手をつなぐことの大

切さ」と題された講演では、困難だったクラスを担任したときに、組合の仲間を支えられ助けられて頑張ることができたという経験を、その時の状況や心情を交えながら語られ、共感の涙を浮かべる参加者が多くいました。

そして『三年一組物語』のモデルとなったジュン先生の授業の失敗・子供との関わりの失敗談とそこから得た教訓を明るく話されたほか、学級経営では『話し合うこと・思いを伝え合うこと』を心がけており、日記指導を通して全児童と対話をしている、保護者とのやりとりを大切にしているとお話がありました。

落ち込んで今この経験がきつと意味のあるものになるシンポジウム参加者からは「子供が楽しんで勉強する学校生活を送るためには、教員が生き生きしていなれば」「うれしく、まくいかなることばかりで、正直教師は向いていないのかと落ちこむけれど、続けていくことで今の経験がきつと役立って意味のある

共感が広がったシンポジウム



教室でもできるゲームで交流

ものになると思う」「子供と多く接して、子供と気持ちを分かち合って、子供との信頼関係を築いていくことが大切なんだ」等の声が上がりました。

(新歓ジャンプ実行委員長 石津あや)

た。

シンポジウムの後は意見交換交流会。楽しく対話をし、会場は元気が明るさでいっぱいになりました。参加者は少なかったのですが、その分場が一体となって学びあうことができました。先輩からいただいた知恵を、今

第2回支部・専門部 組織拡大担当者 会議開かれる

組合加入促進 ニュース



六月十一日、第二回支部・専門部組織拡大担当者会議が開かれ、十二支部五専門部から参加がありました。四、五月拡大月間の到達点にたち、夏のとりくみに向けて集中した論議を行いました。

杉並支部から特別報告

今回は、杉並支部の金丸副委員長から拡大目標設定と達成に向けたとりくみの報告がありました。

杉並支部は、昨年度拡大目標の65%を達成、その加入状況(月別・年齢別・性別・学校種別・分会別の加入状況、加入の動機、脱退の状況等)を詳しく分析しました。そして、なぜ目標達成にいたらなかったかを掘り下げて論議しました。声かけがすすまない背景には、職場の猛烈な多忙があること、組合員を増やす

幼稚園部大会



幼稚園部大会

五月三十日、エデュカス東京で幼稚園部大会が開かれました。各区の状況や取り組みを交流するとともに、二〇〇九年度運動方針を採択しました。今幼児教育は、公立幼稚園の統廃合、預かり保育、幼保一元化、認定子ども園、公設民営など、大きな保

育制度改革の渦中にあります。今年度から実施されています。豊島では、非常勤の「道徳の教師」が配置され、道徳推進が求められていると報告がありました。

昨年加入した新採者の頼もしい発言もありました。今年度の常任委員を受けてくれました。若い世代への活動の継承は、未来への希望がふくらみます。

子どもの成長と発達を何よりも願ひ、経済効率優先・安上がりな教育条件切り下げに反対し、公立幼稚園を守り、真の子どものための幼児教育を目指すために、今後も学習と運動をすすめていきます。

六月十一日、第二回支部・専門部組織拡大担当者会議が開かれ、十二支部五専門部から参加がありました。四、五月拡大月間の到達点にたち、夏のとりくみに向けて集中した論議を行いました。

職場でどう声をかけたか

職場での組合員拡大の経験も語られました。「休憩時間には声かけができていない。みんなパソコンに向かって黙々と仕事をしていた声かけられる雰囲気ではありませ

多彩なとりくみと経験を

他の支部・専門部からも、とりくみの報告や拡大の経験が生き生きと語られました。中央支部で転入者が加入、職場と事務職員部との連携プレーでした。東久留米でも事務職員部がパンフをつかって加入をすすめています。北多摩

集まる、語る、つながる 職場のとりくみ大切に

職場の新規採用者へ「教職員になったあなたへ」「共済加入リーフ」は渡されていいますか?全員の手に届けることが大切です。「新採者加入対話会あたりキャンペーン」期

職場で集まり語り合えば、自然に職場の問題や要求が見えてきます。忙しい職場だからこそ、「最近どう?」「ちょっと手を休めてお茶にしない?」と声をかけましょう。「集まる」「語る」「つながる」ことを大切に、笑顔と元



杉並支部のとりくみ報告から学習

ましよう。